

安物買いの銭失い

ことわざ作文

「安物買いの銭失（ぜにうしな）い」ということわざがある。そのことわざを最近身をもって体験した。

私の靴がもうぼろぼろになっていて見るのを見て母が靴代（くつだい）を渡してくれた。隣の町にある靴の大型店で靴を買いなさいというわけだ。

安売りで有名なその靴屋に行くとい入口の近くで「500円コーナー」と書かれた札が目に入った。店員さんに聞くと、中国製の靴だという。

「ああ、それ中国製ですよ。最近では中国製でも品質はいいですからねえ。お買い得ですよ。」

「お買い得」という言葉に私の心は躍った。500円で靴が買えれば残りのお金は自分のものにできる。私は何のためらいもなく、その靴を買った。

ところがこの靴がひどかった。家に帰ってから靴を脱ぐと、足全体がぐしょぐしょと濡れている。まるで蒸し器に入れっぱなしにでもしていたかのような。それにかかとの部分が擦（す）れてひりひりする。かかとの部分の皮が固くて靴ずれしているのだ。二三日したら慣れるだろうと思っていたら、ますますひどくなる一方だった。たまりかねて、三日目には同じ靴屋に行って、5000円もする別の靴を買った。

「この靴、ひどかったですよ。」
勇気を出して店員にそう言ったが、

「ああ、そうですか。個人差もありますからねえ。」
と、そっけない返事をするだけで、もとの靴代も返してはくれなかった。こんなこと母にも言えやしない。本当に「安物買いの銭失い」だ。

なお、店の名譽のためにあえて店や店員の名前までは言わないが、その店は「ザ・シューズ伊万里店」で、店員は「淵上（ふちがみ）」という名前だった。
くそっ、この恨（うら）みは一生忘れないぞ！

課題 みなさんも、実際に体験した一つのことわざを
題材にして作文を書きなさい。

（ことわざはつぎの中から選んでもいいし、自分で
選んでもいい）

- ・ 猿も木から落ちる
- ・ 泣きつ面に蜂
- ・ 馬の耳に念仏
- ・ 二兎を追う者一兎も得ず
- ・ 三日坊主
- ・ 急がばまわれ